

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード		22071		事業名		リニア中央新幹線整備促進事業		
	事業手法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()						
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上				予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化					款	02:総務費
		施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進					項	01:総務管理費
		重点プロジェクト	-					目	07:企画費
事業期間		H 21 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		-			

評価分類		A1	
------	--	----	--

担当部署	
部	政策部
課	政策推進課 交通政策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)	
	県期成同盟会において、本市を県内駅位置候補とすることが決定され、令和3年10月には県内駅候補地案を提案した。こうした中、リニア亀山市民会議への継続した支援や関係団体等との連携を強化し、リニア中央新幹線の早期全線開業と市内停車駅設置の実現に向けた一層の機運醸成を図る必要がある。		リニア亀山市民会議・市民・企業・商業者		リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向けて、市民をはじめ、県全体での機運醸成が図られ、リニア中央新幹線の市内停車駅設置が実現される。		リニア亀山市民会議の活動を継続して支援し、一層の市民の機運醸成を図るための活動を展開するとともに、県・関係団体等との連携を強化する。また、市内停車駅の誘致に向けた情報収集や必要な調査を行う。	

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画		○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の実施 ○PR活動		○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動		○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動		○リニア亀山市民会議への補助金交付 ○三重県期成同盟会等との連携 ○PR活動	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		リニア亀山市民会議に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅誘致に向けて、市内外のイベントにおいてPRグッズを配布したほか、夏休みには親子学習会を開催した。国県のリニア期成同盟会等と連携し、全線開業や誘致に向けた活動を展開した。誘致の実現を見据え、リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の結果を取り纏めた。							
	計画額	事業費 予算額	10,800千円		10,730千円	1,700千円		1,700千円		1,700千円
			国・県支出金							
			地方債							
			その他							
	決算額	事業費	10,800千円		10,730千円	1,700千円		1,700千円		1,700千円
			国・県支出金							
			地方債							
その他										
一般財源		10,649千円								
①期間内事業費(R4-7)		15,900千円		②期間外事業費(R8-)		-		①+②総事業費		-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	10,730千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	三重県期成同盟会等との連携数	三重県期成同盟会等との連携(会議等出席)回数	活動	回	計画値	5	5	5	5
					実績値	7			
	リニア関連イベント参加者数	市民会議が実施するイベントへの参加者数	活動	人	計画値	60	80	100	120
					実績値	84			
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	本市より県期成同盟会に提案した県内駅候補地案等について決議がなされ、同会から事業主体に要望が行われるなど、リニア亀山市民会議をはじめ、県等関係団体と連携した継続的な官民一体の取組は、リニア中央新幹線の市内停車駅設置に向け着実に実を結んでいる。概略駅位置の決定には至っていないが、様々なPR活動を展開しながら、リニア中央新幹線の名古屋・大阪間開業の早期実現や市内停車駅の誘致に向けての機運醸成に資することができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
リニア亀山市民会議・市民・企業・商業者	リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向けて、市民をはじめ、県全体での機運醸成が図られ、リニア中央新幹線の市内停車駅設置が実現される。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会において、駅候補地が決議され、JR東海へと要望がなされたことにより、一層、リニア亀山市民会議をはじめ、三重県や関係団体と連携した機運醸成につながる取り組みを、より一層積極的に展開していく必要がある。 また、リニア中央新幹線の市内停車駅の誘致を見据えた本市のまちづくりについて、取り纏めた調査結果を活用し、さらに検討を深める必要がある。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 県等の期成同盟会や市民会議における官民一体となった活動を通じて、市民の機運醸成を図るため、当該組織の会員拡大や新たな事業を展開する。 また、先行開業区間の整備状況を注視しつつ、リニア誘致実現を見据えたまちづくりについて検討を深める。	令和6年度以降で対応するもの 県等の期成同盟会や市民会議における官民一体となった活動を通じて、市民の機運醸成を図るため、引き続き当該組織の会員拡大や新たな事業展開を検討する。 また、先行開業区間の整備状況を注視しつつ、リニア誘致実現を見据えたまちづくりについても検討を進める。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

【履歴】

1次評価者	政策部 政策推進課 交通政策GL 服部 任之
最終評価者	政策部 政策推進課長 大平 守